



【新年の挨拶】



押上一丁目仲町会
町会長高橋邦夫

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては平素より町会運営に對し多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は日本国内ではオレオレ詐欺、振り込み詐欺の事件が多発すると同時に、アメリカのサブプライムローン破綻から始まった金融危機が世界中へ波及し、世界恐慌とも表現され百年に一度と言われる世界の経済不況をもたらすといった全く良い話はありませんでした。今年も丑(牛)年です。丑は非常に力があるので「モー不況はいや」と景気を取り戻してくれればと思います。このような経済状況の中ですが今年も押上地区も新タワー建設の力強い景観と町並みの変化が新しく見えてきます。どうか皆様今年も町会運営に對し多大なご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。結びにこの一年が皆様にとって幸多き年になりますようお願い申し上げます。

【熊谷顧問の挨拶】

新年明けましておめでとうございます。会長からお話がありましたように経済状況が厳しいなかでございますが、この押上地区の新タワー「東京スカイツリー」について、聴くところによると基礎工事は昨年中に完了しまして今年の四月頃には五十M、七月には百M、暮には二百Mの鉄骨の枠組みが出来上がる予定です。

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 五月女 稔

第三十九号

平成二十一年一月三十一日

押上地域周辺もだんだん雰囲気が変わってくると思われまます。このような状況のもとで、押上一丁目仲町会の益々の発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして新年の挨拶に代えさせていただきます。

【多賀常任相談役の挨拶】

まず、神社関係のお話をさせていただきます。お焚き上げを止めてから三年になります。神社の公孫樹の木の根っこが切られて、この頃公孫樹の葉も茂るようになりましてお焚き上げをやらなくなつて良かったと思ひます。煙による地球温暖化を防ぐうえで、多少でも貢献しているのではと思ひます。

【松倉常任相談役の中締め】

本日は楽しい新年会が有難うございます。昨年の後半から世界的な金融危機で大変な事でした。新年を迎えてもこの状況はなかなか改善されることは無いけれど、皆様この不況に負けないで今年も元気で良い年を迎えられるようお願いして二本で締めさせていただきます。

【OST】

OST会員の皆様お元気で新しい年をお迎えでしょうか。昨年の忘年会は如何でしたか。二十六名出席

で、お弁当は美味しかったでしょうか。お喋りしたり懐かしい歌を四曲も唄って最後はビンゴゲームでした。袋の中身は如何でしたか。一日置いて十六日には硝子の森箱根湯本のバス旅行でした。硝子の森は珍しいきれいな風景でも良かったです。十五名出席で、お昼食は富士屋ホテルの洋食でした。お上品なお料理でした。月末に出席者の方達にクッキー等を配りました。年が明けて町会新年会(五日)にはOSTか

ら六名出席しました。二十五日には、十二月生まれ、一月生まれの方達の誕生会を致しました。誕生者は二十名で誕生会には四人出席しました。お喋りしたりお茶菓子を食べたりして、そうそう梅酒も飲んだりしてアツと云う間にお別れの時間が来て、皆さんで唄を歌って解散しました。十九名の出席でした。又三月にも誕生会を致しますので、都合をつけてご出席下さる様、お待ちしております。まだまだ寒さが続きます、



風邪を引かない様、お気を付けて御身御大切に。

【総務部】

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられて良いお正月を過ごされたことと推察いたします。

昨年末からの町会内の掲示板の回収作業を墨田区からの依頼で実施いたしました。何年ぶりの作業で予算の関係にて限られた数量しか実施できませんでした。五年後には、また別の回収作業や新設作業等にも取り組んでまいりたいと思っております。本年もよろしく御礼申し上げます。

【婦人会】

明けましておめでとうございます。いつも廃品回収にご協力いただきありがとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

毎年恒例の「新年会」を一月二十五日(日)錦糸町の広東料理「大三元」で行いました。十四名の参加でしたが、和気あいあいと会話も進み楽しいひと時でした。料理の方も想像と大きく異なり、お酒落で見た目も美味しく大満足でした。ビンゴゲームも一等は一人、本日の参加費がただになり、また、他も現金で空くじなし最低でも五百円が当たるとあって大盛り上がりでした。参加された皆様ありがとうございました。

また、春には、日帰り旅行も計画したいと思っておりますので、ご希望等ありましたら、どんどんお知らせ下さい。決定次第ご通知申し上げますので、その節には、皆様の多数のご参加を心からお待ちしております。婦人会に入会していただける方がいらしゃいましたら、いつでもお知らせいただければ幸いです。本年もどうぞよろしく御礼申し上げます。

【秩父札所めぐり】

石田輝雄

素朴な人々に守られた霊場と言われる秩父三十四観音にお参りしたいものだと考えられていた。私も家内も神仏に對して特別な信仰心がある訳では無いが、寺が在る町や村の風物を眺め乍らハイキングがてらの行程は仲々楽しいものである。特に田舎道を歩くのは都会生活の永い者にとっては又と無い楽しみである。秋に入って天候も落ち付いた様子、家内同行で秩父札所巡りを始める事にした。観音札所は平安時代の西国札所に始まり、次で坂東札所、秩父札所が生まれたと言われる。西国三十三番、坂東三十三番の札所に対して秩父のみが三十四番になっているのは合わせて百になると言う百観音の所産と言う事である。少しく早起まして押上七時十七分発の地下鉄に乗車。押上始発だがお勤めや学生さん達で直ぐ満員。浅草からJR上野そして池袋へ八時十分に到着。西武鉄道のホームへ急ぐ。券売機利用で西武秩父迄の乗車券と特急券を求める。八時三十分発の特急レッドアロー号の客となる。天候良好。車内も明るい。家内に促されてウイスキーの水割りを楽しむ。飯能で電車は方向逆行となる。吾野を過ぎると風景も変ってくる。正丸トンネルを抜ける。左手窓外に武甲山が迎へてくれている。九時五十分西武秩父到着下車。未だ孫が少なかった頃、何回か連れて訪づれたが駅構内の土産物店の賑やかさや駅前佇まいは変わっていない様だ。西武バス案内所で家内はコースを教えてもらう。仲々親切に教えてくれたと、西武バス停二番で待つ。今度の皆野行は十時三十分の発車。今回は先づ一番寺からお参りをしよう。此処秩父では寺の名を言うより何番さんと言った方が通るのだそうだ。バスは市

内を抜け国道二九九号線をしばらく走り県道に入る。一番寺前に着いたのが十一時五分。バスを降りた左側石段を登り山門をくぐる。一番寺は誦経山妙音寺「曹洞宗」だが四萬部寺と言つ方が通りが良いとの事。秩父の観音霊場開いた一人と言われる性空上人の弟子幻通が遺命によつて永延二年（九八八年）この地に来て四萬部のお経を供養の為に読み後生に仏縁を伝える為「経塚」を築いたことから言われる様になったと。この寺の本堂は元禄十年に建立され宝暦六年に改修された瓦葺入母屋造りで県文化財である。本尊は聖観世音菩薩（行基が刻んだと伝えられている）施餓鬼堂で毎年八月に行われている四萬部の施餓鬼は有名な賑わいの由。さすがに秩父は各札所への道しるべは整つて居り先づ迷う事はあるまい。さて、之からは徒歩での出発である。妙音寺を後にして小さな橋を渡り県道を通つ切る。辺りは稲穂が饒かに実り如何にも秋の風景。作業して居る人に聞いてみた。冷夏だったが今年も先づ先ずの出来ですとの答えが返つてきた。小型自動車のみ通れると言う道は如何にも田舎の道と言う眺めだ。イノコヅチが懐かしい。赤マンマ、スイカンボ、水引草、名も知らぬ薄むらさきの花、少年の頃を想い出す。畠には里芋、大根、茄子、人参が所々に桑の木も、やがて山道に入りかなり傾斜がきつくなつてきた。汗が出て来た。車が二台通つただけで人影は無い。小一時間程登つた所に道標。二番札所入口と示してある。右折する。崩れそうな石段を登り切つた所にひっそりと御堂が建っている。此処高篠山「標高六六五メートル」の中復にある二番札所大綱山真福寺「曹洞宗」である。本曹は聖観世音菩薩、寺伝によると開基の大綱禪師が老後鬼丸と言う岩屋にこもっている時、一人の老婆が帰依して

過去をざんげし竹杖を置いて立ち去つた。禪師はあわれみ供養の為に堂宇を建立したのが寺の始まりで、今の本堂は明治三十六年頃に建てられたものであると、境内にたつていると山のつめたいかぜが身にしみる。昼も過ぎていたので此処で持参のにぎりめしでも喰べよう。今回は小型の携帯ガスコンロを持ってきたので湯を沸かそう。コンロを準備している間、家内は寺の下にたつた一軒ある民家に水をもらいに行く。インスタント味噌汁でも殊の外かおいしい。簡単な昼食を終る。静かだ。此処二番札所真福寺は無人であり従つて納経帳に記帳してもらふ訳にはゆかぬ。この寺の納経所は山を下つた所に在る。光明寺で取扱つているので其処で記帳してもらおうのだ。真福寺への山路は札所の中でも強く印象に残る貴重な巡礼路との事だが最近の巡礼は真福寺へのお参りをせず光明寺で納経だけ済ませて帰る者が多いと嘆かれていますと聞いた。今迄が嘘の様に光明寺迄の道は下りである。道の両側のあちこちに椎茸を栽培した後の一メートル程の木が数十本づつ束ねられて置いてあり大分朽ちているものも有る。いつか又土に戻るであろう。進む左側が谷川。水がとても綺麗だ。人家も散見されて来た。納経所の在る光明寺はT字路を右折すると正面に見える。此の寺は日札所にはなつて居ないが文保二年（一三二八年）に創建された此の地方の名刹の由。今は改築された立派な本堂である。真福寺の記帳をしてくれお婆さん、仲々良い人で次の寺への道順をわざわざ赤鉛筆で略図に記して渡してくれた。有難う。寺を出て又右に進む。もう平地だ。右側に酒屋此処で県道に出て左折。車の往来がかなり激しい。セブンイレブンの建物の所から右折する。真直ぐ歩いて横瀬川に架る山田橋を渡り左へ道標に従つて右

折。田圃道の正面に三番寺の岩本山常泉寺「曹洞宗」本尊は聖観世音菩薩。意外に大きな本坊。八間に五・五間の瓦葺の建物。弘化四年（一八四七年）に火災で全焼した後、安正五年（一八五八年）に再建されたものの由、境内には長命水。不唾石子持石が堂前に安置してある。本坊の左手の石段を登ると銅葺の観音堂。江戸末期の頃秩父神社境内に薬師堂として建てられたものを明治三年（一八七〇年）此処へ移築したとの事。大唐破風の向拝を付けた建築は建物としては一級のものの由、堂内の格天井は極彩色の花鳥図が描かれてあつた。又屋根の竜の刻印も素晴らしい。観音堂を見学している間に納経帳に記帳して置いてくれた。之は良かったね。二番寺から三番寺までは約二・五kの行程であつた。次で四番寺に向う。刈つたばかりの稲が横竹に干してある風景は如何にも農村の秋と言つた佇まいだ。そして静かだ。セブンイレブンの所迄戻り右折する。十数分歩いた左側に銅葺の仁王門。門を入ると境内は石仏だらけ。仁王門から六角堂そして本堂へと石仏は建物の周囲をうずめつくしている。石仏の総数は千三百十九鉢と言われている。札所中で一番賑はつているのが此処四番寺高谷山金昌寺「曹洞宗」でありその人気はこの多く安置されている石仏にあるのであろう。寛永元年（一六二四年）此の寺の住職古仙登獄和尚が寺門の興隆と天災による犠牲者の供養に石造千鉢仏の安置を發願し七年後に成就したと。其の後も信者の寄進はつづき数を増していったそうだ。本堂の前に安置されている子育観音像は有名であり座高は八十八センチ余り蓮台には寛政四年（一七九二年）江戸の吉野屋半左衛門が先祖の菩提を弔う為に安置したと刻銘されており、マリア観音と呼ぶ人もある由「蓮台の土から十字架に見え其のうら側にはカエルの彫刻がありミ（御）カエルを意味していると言う」金昌寺の本尊

は十一面観世音立像で寺伝によると行基菩薩の作と伝えられている由。此の本尊が巡礼姿の娘に身を変え、悪人の荒木丹下と言う男を改心させ仏道に帰依させた事から此の寺を一名荒木寺とも称される様になつたと伝えられている。三番寺から四番寺まで約一・六kだった。参詣を終へ県道へ出て又左に進む。今日はお参りの初日だから此処金昌寺で終了としよう。しばらく進むと左側に駐車場のあつた大きな建物。此処がバス停だ。と工事の人が教えてくれた。西武バスで西武秩父着、レッドアロー号で池袋へ。JR日暮里で下車、バスで押上へ。

【しらとり子供会】
新年あけましておめでとうございませう。昨年は町会の皆様、婦人会の皆様、OSTの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、昨年の秋頃から押上駅付近の開発工事が本格的にはじまりました。通学路の反対側ではありますが、今後、大型車輛の交通量も次第に増加すると思われまふ。子供たちが安心して通行出来るよう、学校や各家庭で注意を呼びかけてまいります。地域の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

そして新しい年を迎え、もうすぐ六年生（二名）が卒業します。年々子供が減り続ける傾向にあります。四月には新しい仲間が増えることを期待しています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

【編集後記】
不況！不況！の大合唱で始まった平成二十一年だが、なんとなくチグハグ感がある。面白い話題は「新タワー・東京スカイツリー」だけでは寂しすぎる。区切りが必要だから昨年と今年を分けるが、あまり期待を持っていない新年は好ましくない。

だからこそ「良くなる」という気分が大切なのだ。今の世の中には！